本会議・委員会のインターネット放映を行っています（https://www.gikai-machida.jp/）

望まない孤独・孤立への対策を

藤田　学（自由民主党）

問　新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛、失業などで顕在化した「望まない孤独・孤立」への対策を。

高橋副市長　22年３月の策定を目指し、（仮称）町田市地域ホッとプランの策定業務を進めているところです。

問　成年後見制度利用促進のための基本計画策定にむけて、現状と課題、検討状況は。

地域福祉部長　権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築などを盛り込むことを想定しています。今後、専門職団体や関係機関との議論を踏まえ、検討していきたい。

問　緊急事態宣言下においても、厚労省通知に基づき、がん検診の勧奨、予防対策を。

保健所長　現在実施できていない肺がん検診については、他自治体の情報収集等を行っています。実施方法等、医師会と協議を進めていきたい。

個別避難計画で災害弱者を守る

斉藤かつひろ（公明党）

問　災害対策基本法の改正に伴う要配慮者支援について個別避難計画の進捗状況は。

高橋副市長　国が実施するモデル事業を参考にしながら、国の指針に沿って、26年度までに作成に向けた取組を進めていきます。

問　小中一貫ゆくのき学園について市唯一の小中一貫校として9年が経過したが振り返ってその成果は。

指導室長　学びの連続性、中1ギャップの解消、基礎基本の徹底を目指し研究を進め、成果を発表しています。

問　大戸踏切周辺の道路整備について現在の状況と今後の計画は。

赤塚副市長　東口アクセス路整備事業は用地取得、無電柱化の協議を進め、今後は、大戸踏切立体化事業とスケジュールなど綿密な調整を行い、28年３月完成を目指します。

市内交通事業者の支援について

山下てつや（公明党）

問　バス及びタクシー等新型コロナの影響を受けている市内交通事業者の支援が必要と考えるがどうか。

赤塚副市長　厳しい経営状況と認識しています。国交付金を前提とし、事業者へのさらなる支援を検討します。

問　市として脱炭素化を進める「促進区域」の指定について検討する考えはあるか。

環境資源部長　ガイドラインが示される予定で、国や都の動向を注視するとともに、改正地球温暖化対策推進法の仕組みを研究していきます。

問　コロナ禍での学校開放事業の実施について、柔軟な対応を求める。

生涯学習部長　緊急事態宣言期間中、学校行事を原則延期または中止、中学校部活動も原則中止しています。そのため感染拡大防止の観点から学校開放を休止しています。

「議会改革度調査」で11年連続、都内１位　全国では５位

全国１４０４都道府県及び市区町村の議会を対象に行った議会改革度調査で、町田市議会は、11年連続東京都１位にランキングされました。

早稲田大学マニフェスト研究所の報告書によると、絞り込んだ53項目の調査を行った結果、全国で情報共有１位、住民参画７位、議会の機能強化35位となり、総合で５位にランキングされました。

これは町田市議会が開かれた議会を目指し、市政の何を問題として検討しているか、そしてどのような解決策を考えているのかを市民の方に知ってもらいたいと常に考えて実行しているからです。また、高校生やさまざまな市民団体との意見交換会を開催することで、解決策を市民の方と一緒に考えて行こうとしているからです。

それでは、議会改革の現状を見ていきたいと思います。

まず、情報共有ですが全国４位から１位になりました。

これは、早稲田大学マニフェスト研究所の第15回マニフェスト大賞において、コミュニケーション戦略賞の最優秀賞を受賞した①「議案のカルテ」に因るところが大ですが、そのほかにも②オープンデータの充実③16期町田市議会改革調査特別委員会で、希望する議員には住所の公開を地区名のみとすると決定したことが理由としてあげられます。

次に住民参画ですが全国３位から７位に下がりました。

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会では、④新たな基本構想・基本計画まちだ未来づくりビジョン２０４０を調査し、６月定例会に上程されたこの議案を特別委員会と本会議で可決しました。その調査の中で⑤市議会独自に大学生や、市民団体等にアンケートを実施し、広く市民の意見を吸い上げる試みを行いました。本来なら、大学生と直接意見交換を行う計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためアンケート調査の実施となりました。このような試みが、順位を維持できた理由と言えます。

最後に議会の機能強化の取り組みですが、昨年全国17位から35位と下がりました。これは、コロナ禍のなかで委員会開催をオンラインで行っていくための法整備が遅れたことが主な理由です。今回上位に食い込んで来た先進市議会は、会議規則・委員会条例の改正を行い、現在委員会のオンライン開催ができるようになっています。町田市議会も検討を始めていきたいと考えています。また町田市議会は平成20年には既に⑥本会議・委員会の欠席理由として疾病、看護、介護、出産、育児を会議規則に記載していました。最近ではその他に配偶者の出産補助なども記載されるようになりましたので、あわせて改正できればと考えています。また、⑦町田市議会事業継続計画（町田市議会ＢＣＰ）を昨年作成しました。これは、地震のケースを想定して作成されていますが、今後は新型コロナウイルス感染症のようなケースの事業継続計画も必要だと考えています。

今年度も小・中・高校生あるいは市民団体と意見交換を行い、貴重な市民の意見を市政に反映させていく努力を一生懸命行ってまいります。

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会を開催

６月22日に開催され、左記の付議事件について審査が行われました。

付議事件①町田市基本構想に関する事項

付議事件②町田市基本計画に関する事項

付議事件③町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算

第62号議案　町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン２０４０」の策定について

町田市基本構想・基本計画調査特別委員会調査結果報告

６月30日の本会議において、調査報告を行い、調査報告書のとおり全員一致をもって可決されました。

【調査の目的・経過】

本委員会は、22年４月から開始する新たな基本構想・基本計画によって、市民が夢を描くことができ、幸せを感じられる未来をつくることができるよう、町田市基本構想に関する事項、町田市基本計画に関する事項、及び町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算の調査、検討を重ねてきました。

さらにその間、20年６月29日から７月22日にかけて、町田市議会の調査の参考とするため、団体や学生等に対してアンケート調査を実施し、議論を深めました。

また、20年９月17日の委員会において、町田市基本構想に対して委員より数多くの意見が提出されました。この意見をまとめ、新たな基本構想・基本計画策定に際し、参考に資するよう20年第３回定例会に委員会提出議案として「新たな基本構想・基本計画に関する決議」を提出しました。

【調査の結果】

21年６月22日の委員会において、第62号議案　町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン２０４０」の策定について審査した上で、

付議事件①町田市基本構想に関する事項

付議事件②町田市基本計画に関する事項

付議事件③町田市基本構想及び町田市基本計画の策定に関する予算の調査、検討を終了しました。

なお、調査報告書の詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

可決した主な議案の内容

第53号　町田市体育施設条例の一部を改正する条例

町田市立室内プールに新設する健康増進温浴施設の利用時間及び利用料金を設定するため、所要の改正をするものです。

第54号　町田市公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例

厚生労働省の「公衆浴場における衛生等管理要領」の改正に伴い、公衆浴場の適正な衛生及び風紀管理のため、所要の改正をするものです。

第58号　（仮称）成瀬鞍掛スポーツ施設整備工事請負契約

「町田市スポーツ推進計画19―28」に基づき、市民のスポーツ環境の充実のため、多目的グラウンドや散策路等を整備する工事請負契約を締結するもです。

第59号　野津田公園拡張区域整備工事（その２）請負契約

町田市第二次野津田公園整備基本計画に基づき、野津田公園北側拡張区域に多目的グラウンドを整備するため、工事請負契約を締結するものです。

第60号　玉川学園前駅デッキ整備工事請負契約の変更契約

デッキ橋脚の施工位置の地中に残置されていた浄化槽の撤去に時間を要したため、工期の変更契約を締結するものです。

第61号　土地の買入れについて

市街地に近い貴重な自然環境を保全するため、町田都市計画緑地事業第27号三輪緑地用地を取得するものです。

わたしたちの町田市議会

市議会のしくみをわかりやすく説明している、子ども向けパンフレットを作成しています。

市議会ホームページの「キッズページ」からご覧いただけます。